

2018 年度日本建築学会大会（東北）
構造部門（応用力学）
パネルディスカッション資料

衝撃作用低減への合理的アプローチ

2018 年 9 月

日本建築学会 構造委員会
応用力学運営委員会

目次

「衝撃作用低減への合理的アプローチ」にむけて 衝撃低減対策小委員会	1
衝突・爆発による衝撃荷重の発生確率 濱本 卓司 (東京都市大学)	3
衝撃解析のためのモデル化と解析法 西田 明美 (日本原子力研究開発機構)	15
合理的な耐衝撃設計法に向けて 竹内 義高 (株式会社 大林組)	25
近接爆発荷重に対する損傷抑制対策 別府 万寿博 (防衛大学校) 永田 真 (防衛省整備計画局) 相澤 武揚 (昭和飛行機工業 株式会社)	35
衝撃作用の低減と緩和の対策事例 小室 雅人 (室蘭工業大学)	45
非構造材の衝撃破壊対策への取組 向井 洋一 (神戸大学) 堀 慶朗 (YKK AP 株式会社)	55